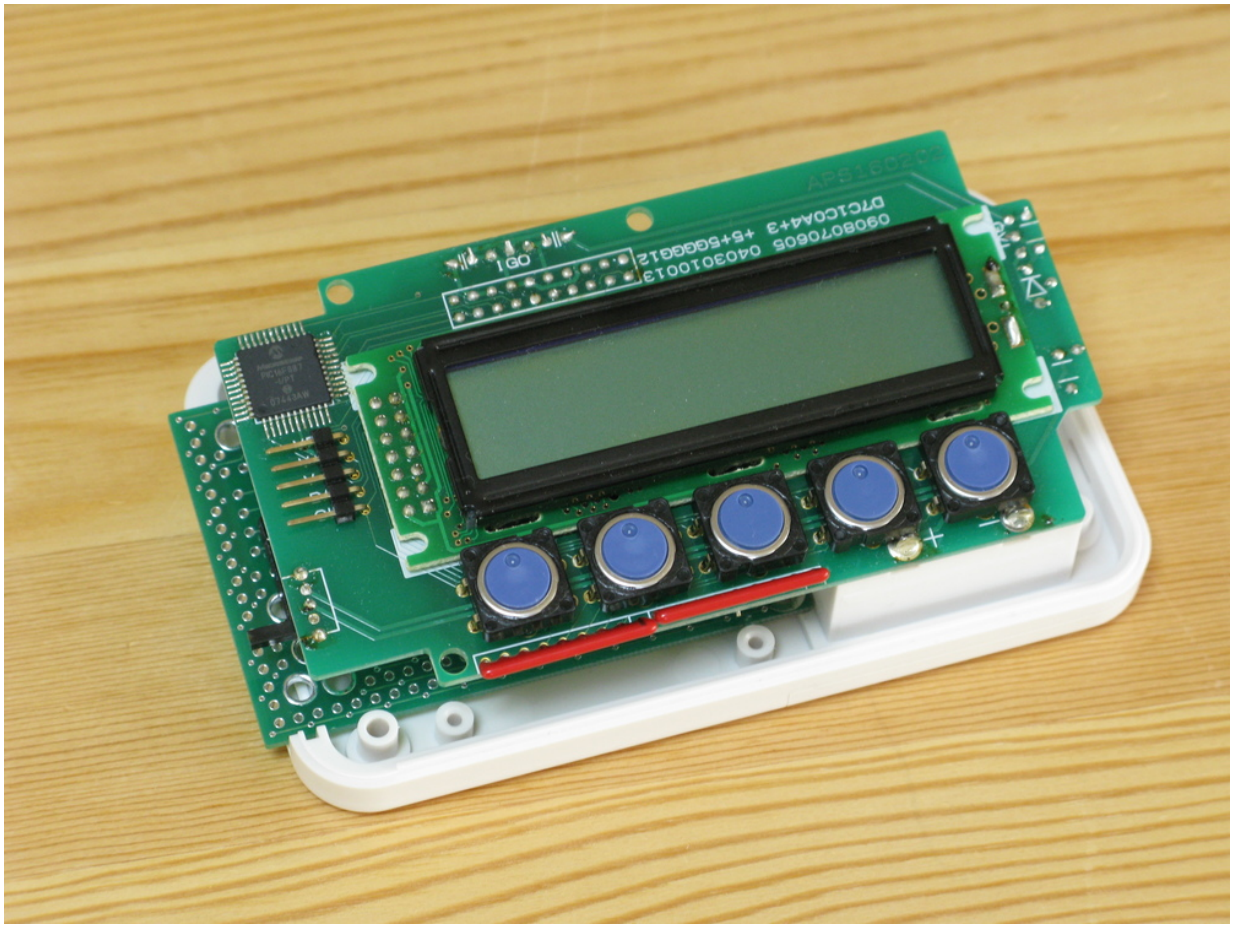

いろんなことをはっきり言っていただいた。これは難しいんじゃないかとか、ここはどうなんだとか

株式会社　日本デジタルセンシング（仮名）は、2009年に設立されたベンチャー企業である。今回、ハードウェア開発をきもと特急電子設計に委託した経緯について、社長の辻氏（仮名）と、開発主任の小林氏（仮名）に伺った。

※　お客様のご希望により、仮名となっています。また、事業内容等の詳細は伏せさせていただいています。ご了承ください。

---- いつ、どんなきっかけで、ハードウェアの外注に興味を持たれましたか。

辻：　基本はまずこのサービスを思いついたときに、今のテクノロジーを活用すれば、もっともっとすごい簡素化できるなというのがわかって、いろんな事例を見ていて、じゃあこれをできる外注先、一緒に協力できる外注先はどこかないかなということで考え始めました。

---- 作れるところを探したと。

辻：　開発に関しても、丸投げというよりは、一緒になって、スピード感を持って、真摯にこういろいろと、やりたいことに対して一緒にやってくれる先がないかなということで探しました。

---- きもと特急電子設計を知ったのはいつですか。

辻： 小林の方が、そういった先を探そうと。
（私の方は）何社かハードの開発をされている会社さんを探してて、そういった会社とも会ってて。
小林の方はネットで木元さんの情報にたどり着いて、じゃあもうぜひ会ってみようと。
いろいろ（きもと特急電子設計の）ホームページのバックグラウンドを見て、会ってみてお話ししてみようということになりました。

---- そのときの第一印象はいかがでしたか。

辻： 第一印象は、たぶん二人の印象は違うと思うんですけど…

小林： いやもう本当にプロだなぁと思いましたよ。
プロで、かつハードウェアの開発ができる方じゃないかと思いました。

辻： 僕は正直、わからなかったです。
やっぱり会って、話をしてみて、というところがまずいちばん大事だと思ったので。
いちばん最初に会ったのが、横浜ですよね。非常にいい印象というか、そのとき僕らのやりたい内容と、考えてる内容に対して、いろんなことをはっきり言っていただいた。
これは難しいんじゃないかとか、ここはどうなんだとか、という、より的確なお互いの受け答えができたと、というところが非常に信頼というか…
この方だったら、はっきりと、僕らのためではなく、エンドユーザーのためのものの見方ができる方なんじゃないかなというイメージがあります。

---- ほかに比較されたところはありますか。

辻： 木元さん以外に3社かな、同じような話をしてます。見積りも取りました。
で、いろんな情報を説明して、彼らからの提案も含めて（比較を）やりました。
で、（この3社から）上ってきたものに、金額、内容に関して、納得ができなかった。
1つは、僕らか言った内容をそのまま形にしようとした。要するに自分達の考えるものがあまりなかった。
あとポイントがずれていた会社さんもちょっとありました。

---- なぜきもと特急電子設計を選んだのでしょうか。

辻： まず先ほど言った、開発に対してのアプローチの考え方が僕らに近かった。
あとスピード感。木元さんの売りはその辺だと思っていたので。
3つ目でいうと経験というか、可能性というか、期待できる方なんじゃないかなと思いました。

---- きもと特急電子設計の良いところ、悪いところはいかがですか。

辻： 良いところは、多方面からの知見をくれるところと、ズバッと言ってもらえるところ。
あとやっぱりスピード感。これは良いところと悪いところがあって、木元さんが一人でやられているので、出張に行ったり展示会に入った場合には、なかなかつかまらないというところがあるかも知れませんね。
あと悪いところは、強いて言うと、添付ファイルが開けない（ものがある）とか、そういうことじゃないですか。
ケータイでSMSが使えないとか（笑）。

欲しいなと思っているものに少し付け加えていただけるので、そこがすごくありがたいと思ってますよ。期待値を必ず超えてもらえるので。

小林：　私から見て技術力が高いと思うし。

**　　昨日の（納品物）もそうですけど、欲しいなと思っているものに少し付け加えていただけるので、そこがすごくありがたいと思ってますよ。**

**　　期待値を必ず超えてもらえるので。**

---- 今後の期待や要望があれば、お願いします。

辻　：（今回の案件は）まだ完璧に満足できるところまでは行っていないというところがあって、やりがいのある問題の解決だと思っている。

**　　そういったところ、僕らと一緒に、よりもっともっと密にやっていただきたいというところと、変わらずに木元さんの観点のところからズバズバと、いろんなところは言っていただきたい。**

**　　あと技術者じゃない立場として言ったときには、（過去の）経験値以外の、どんどん新しいものへのチャレンジをしていく人というイメージがあるので、もっと新しいところにチャレンジしていって、みんなが抱えている課題の解決を先頭きってやっていただきたいなと。**

**　　ある意味そこは組織に属してないからこそできる。**

**　　なので僕らのソリューションに関しても、いま僕らが悩んでいることに関して、いろんなアイディアを引き続きいただければありがたいなと、思っています。**

小林：　私はせっかくここまでクオリティの高いものを開発していただけたので、あとは製品化するところでのテクニカルサポートみたいなものを期待しています。

---- ありがとうございました。

エンジニアがいなくて、計画遅れてませんか?
ベストな進め方を納得いくまで相談。100%返金保証。外注が初めてでも安心のハードソフト開発。

きもと特急電子設計
プロフィール

屋号	きもと特急電子設計
代表	木元 峰之（きもと みねゆき）
設立	2009年
従業員数	1人（代表1人でやっています）
住所	150-0002 東京都渋谷区渋谷3-5-16 渋谷3丁目スクエアビル2F （レンタルオフィスですので、アポを取ってからお越しください）
開発室	神奈川県横浜市 （普段はこちらで仕事をしています）
電話	0120-220-447 （打ち合わせ中など出られない場合は、留守電にメッセージをお願いします）
メール	kimoto@pa-i.jp
ホームページ	https://kex.jp/
扱える技術	**回路（ハードウェア）設計:** アナログ、デジタル、マイコン、電池など。 **プリント基板:** 設計、はんだ付けなど。 **ソフトウェア開発・ファームウェア開発:** アセンブラ、画面・タッチパネル設計、センサー制御、電源制御など。 **無線モジュール選定・制御:** Wifi、Bluetooth、TWE-Lite独自ファーム、FMCWなど。 **通信プロトコル:** TCP/IP、MIDI、有線プロトコル設計、無線プロトコル設計など。 **サーバ設定:** Linux、Dockerなど。 **ウェブシステム開発:** C言語、php、JavaScript、画像処理、3D座標計算、独自フレームワーク設計など。 **スマートフォンアプリ開発:** Android、NDKなど。 **その他:** PDF生成、データフォーマット変換、実験計画法など。 **※大事なのはお客様のゴールですので、AIといった手段に囚われず、適切な技術を組み合わせてご提案します。** **進め方チェックサービス（無料）。**経験者の目で進め方をチェックしてほしいときに。無料です。 **zoomやteamsの画面共有でしたら、ファイル送付は不要です。**固有名詞や機密部分は不要ですので消しておいてください。**メールで「zoom相談希望」と候補日時をお送り下さい。**